



発行所 公民館 飯田 編集 公民館 竜丘 印刷 新飯田商工会館内

人口 5,719人 男子 2,761人 女子 2,958人 世帯数 1,493戸 (4月末現在)

# 孫と行こうよ文化祭

## 今秋、小学校で盛大に

昭和五十八年度事業計画は、五月十四日の委員総会で決定された。最近、公民館の刷新などあり、地域における分館活動の充実がいよいよ期待されている。とりわけ本年度は、竜丘小学校改築後はじめての文化祭が行われる。規模、内容ともに充実したものにしたい。竜丘地区民の協力が望まれる。

基本方針の四つの柱は次の通りである。①地域に根ざした住民参加の公民館活動の推進。分館活動を重視し、より一層の内容充実を図る。②学習活動の推進。村づくりセミナー(仮称)市民大学講座の開催。③社会体育活動の内容充実と底辺拡大。④住民の学習意欲の具体化、組織化。関係団体と密接な関連を保ち、自主的運営を援助。

### 青年の主張

現在、青年会では三年前から行われた支会制を敷いています。一つの大きな集団ではなく、各地区に分かれた特色のある活動を行える様にする為です。今は三支会で形成されており、駄科・長野原支会では公民館委員に、桐林支会では館報を、時又・上川路支会はおはやしと活動しているものも現われています。

近年、青年会では一人一人を把握し団を大きく、又地域に立脚できるという事で単位団再建をしよう、と会に入ってきたと思われ、活動をして行き、現在の三

### 地域の青年会に

時又 今村 公市



でも、また青年の結集率は低く人数不足です。常に会員拡大に心がけ、若い人を見かけたら声をかけ青年会に勧誘し、竜丘全ての青年が青年会に入る様にしたい。が、まだ青年会としては公認されていないから、この様な形になってしまうのかも知れません。しかし地域の青年会にとつては、身近な人達と活動しなければならぬと思えます。他団体と小さな事でいい、交流会でもいいから顔を合わせ、その中から地域の事に目を向け、年代の違った他団体の人達と活動し、話をする中で自分達の知らない事を学び合い、地域青年会として活動して行きたい。



「ご苦労様でした。」「お世話になりました。」

去る五月十四日、竜丘公民館委員総会の席上で栄えある社会教育功労者表彰が行われ、感謝状と記念品が授与されました。これは、竜丘地区の公民館、図書館、社会体育、芸術文化活動等、社会教育全般に大きく貢献された方々です。

### これからもヨロシク!

「学級・講座等」を積極的に利用する。既存の学級等を中心に、学習意欲の把握に努め、その具体化、組織化を援助する。なお、今年度の公民館費は、昨年と同様一戸当たり千円となった。

### 社会教育功労者表彰

- 今村 周己 (時又)
- 大倉 剛 (桐林)
- 塩沢 義男 (駄科)
- 浜島 勉 (時又)
- 林 きく子 (時又)
- 藤本 勝 (桐林)
- 山田 勝人 (時又)

### 新任挨拶



竜丘支所長 松村 定利

此のたび、四月の役所人事移動により、はからずも竜丘支所長を拝命した松村でございます。もとより未熟であり、当竜丘地区が飯田市にとってほぼ中心的な中核的地域として発展しつつある重要な

### もつと思いやりを 竜丘婦人の集い

去る三月十三日、竜丘公民館に於いて「竜丘婦人の集い」が行われました。三分科に分かれ、明るい家族関係、子供のしつけ、住み良い環境づくりについて、助言者に公民館長、小学校の教頭先生らをお願いし、日頃婦人の皆さんの感じている問題について活発に話し合われました。

### ガンバル小学生

去る二月十九日、二十日の二日間、恒例の「竜丘公民館文化祭」が行われた。展示室にあてられた各部署には、習字や絵などの展示、青年会の活動風景の写真、天竜の石や、老木手あみのセーター、子供のリュックサック、花瓶敷など「趣味」の域を脱した力作が展示された。

### ヤフ呷

「八つあん、やつと待ちに待った小学校の校舎ができたのう。」熊さん、とにかくめでたい事じゃのう。まあ、おいらがガキの時に考えられん設備ができたんだとさ。「うちの孫とブレイルムとかいう所で遊びたいのう。」「そうだ、今年の敬老会にやあ孫に教室を見せたらうだに。」



